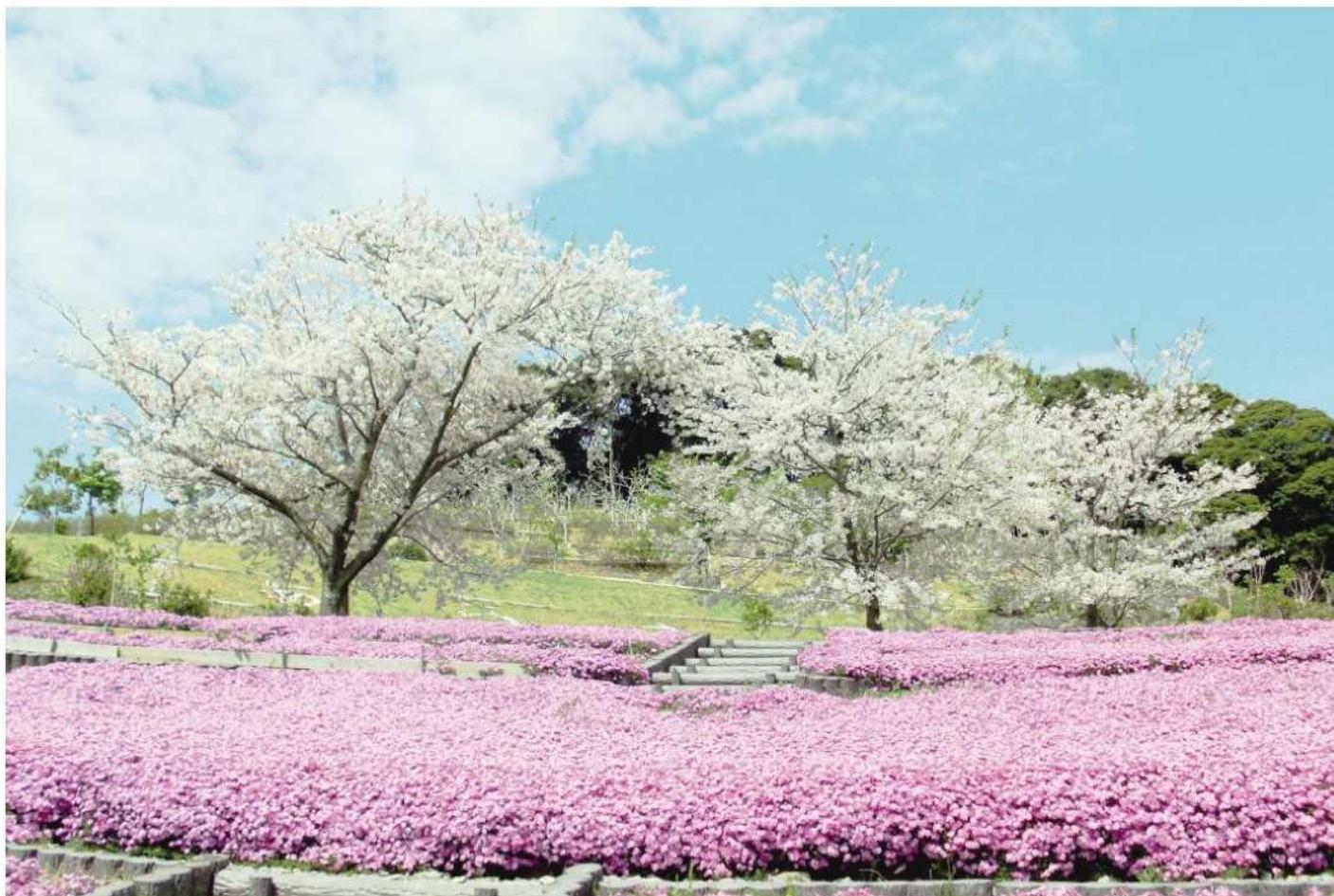


1
おまえざき


市議会だより

第23号
2010.1.2.3月

平成22年5月発行

**常任委員会**

総務経済委員会

◎若杉泰彦 ○曾根正浩

揚張正 阿南澄男 杉浦謙二 岡村勝 増田雅伸 岩瀬初代

文教厚生委員会

◎西島昌和 ○望月ゆう子

曾根紀久雄 柳澤重夫 後藤憲志 清水澄夫 大澤満 大澤博克

議会運営委員会

◎杉浦謙二 ○大澤満

曾根紀久雄 柳澤重夫 揚張正 阿南澄男 若杉泰彦 西島昌和

特別委員会

原子力対策特別委員会

◎柳澤重夫 ○杉浦謙二 曾根紀久雄 揚張正
阿南澄男 岡村勝 大澤満 西島昌和 岩瀬初代

総合開発計画策定特別委員会

◎増田雅伸 ○大澤博克 柳澤重夫 阿南澄男
杉浦謙二 岡村勝 若杉泰彦 西島昌和 岩瀬初代

下水道事業特別委員会

◎曾根紀久雄 ○増田雅伸 柳澤重夫 揚張正 阿南澄男
杉浦謙二 岡村勝 後藤憲志 清水澄夫 大澤満 若杉泰彦
西島昌和 岩瀬初代 望月ゆう子 大澤博克 曾根正浩

行政改革特別委員会

◎大澤満 ○西島昌和 柳澤重夫 阿南澄男 杉浦謙二 若杉泰彦

議会広報特別委員会

◎岩瀬初代 ○曾根正浩 望月ゆう子 大澤博克

○委員長 ○副委員長



後藤憲志

好きな言葉 感謝・信頼
趣味 読書・料理

公正公平な議会運営・開かれた議会づくりに努め、市民の福祉の向上、市の発展に向け努力します。



岡村勝

好きな言葉 有言実行・一意專心
趣味 論書、動物(ペット)飼育
議長を補佐し、二元代表性の元で議会に与えられた権利を十分に活用し、市民の代弁者として機能する議会を目指します。

平成22年4月26日に第2回臨時議会を開催しました。正副議長の選挙が行われ、議長に後藤憲志氏、副議長に岡村勝氏が当選しました。また、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会などの委員も選任しました。市長から提出された監査委員の選任等について原案どおり同意しました。

第2回 臨時議会

新たな議会構成決まる

◎人事

「監査委員の選任につき議会の同意を求める」とことについて、「農業委員の選任に同意した」。

「農業委員の推薦について」
揚張正議員、高田茂男氏を推薦した。

◎条例

「専決処分の報告及びその承認について」
御前崎市税条例の一部を改正する条例の制定について承認した。

本会議質疑

若杉泰彦

岡村勝

曾根正浩

後藤憲志

増田雅伸



問 御前崎市の行政情報化事業費1億9,000万円は予算規模や人口等の面からみて、他市との比較でどの程度になっているか

答 人口1人当たりの予算額から見ますと、静岡市や浜松市が1人当たり2,200円程度、御前崎市が3,100円と高くなっています。



顧問の質問に対する回答です。



問 国保会計の現状と今後の歳入について

答 一昨年の秋以降の景気低迷により、無職者や非正規雇用などの低所得者が増え、所得の減少による国保税の減額、制度改正による国・県支出金の減額等、非常に厳しい状況であります。

答 一般会計から1億5千万円アップという計算になります。やはり応分の負担を出します。国保加入者の1万1千人程度ですの



問 ①ここ数年の情報公開申請件数と開示・非開示件数は、②申請の漏用とはどんな行為をいうのか、③相談窓口と開示あるいは非開示の決定者は誰か

答 ①平成16年から平成21年2月までに40件あり、開示36件、非開示4件です。

②大量の開示請求を行い、市の業務を妨害している事が明らかな場合などです。

③開示請求先の実施機関が最終的な責任を負います。

問 21年度には申請件数が多いと聞いたが、これから情報公開を積極的に進める考えは

答 市政の透明性確保や市民の皆様の理解と信頼を深めて頂くような運営を図ります。

問 アベスト分析調査の9箇所はどこか

答 文化会館、教育会館、御前崎小、白羽小、浜岡中他4箇所で、法律改正で再解消件数は5件で、4・2ヘ

クタールが再生される予定です。

問 荒廃農地対策事業の当初予算上金額がそつくり減額補正だが、事業の進展は再生事業の補助を行い解消件数は5件で、4・2ヘ

調査が必要になつた為です。

問 物産会館の9面マルチと、市政・観光DVDの進行状況は

問 芸術文化費、文化財保護事業臨時職員費について

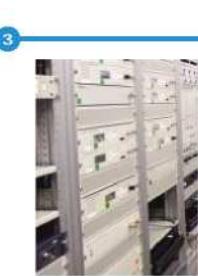
答 放課後児童クラブが新年度より社協へ委託となるが、形態変更是あります。

問 灯台村塾について、22年度は予算が3分の1となつたが、事業拡充となつている説明を

答 英語村を信州、伊豆の高原で計画したが、経済不況を考慮し、市内の民宿に変更したことにより、大幅な縮減となりました。時間的余裕が生まれ充実した内容となりました。また、地元企業が理科実験村の趣

問 事務の効率化や経費削減を考えると避けて通れない課題であり、耐震工事の条件整備を支援していきます。事務事業の一括化が条件だったと聞いたが、この4月から実現されるのか

答 市単独としては精神医療扶助費や施設及び通院費扶助費、「デイサービス事業扶助費、住宅改修費」です。扶助費、住宅改修費です。支援策は、障害児放課後児童クラブ事業、福祉タクシー券の配布、ケーブルテレビ利用料の補助等の支援です。



問 移動支援事業は何時間保障されているか。買物に対するサービスはどれくらいか

答 移動支援の補償額は中東地区と足並みをそろべ、限度額は設定していません。

問 市道頭山線工事の進捗状況、完成予定、総工事費は

答 19年度に本房川の橋台2基と新野川左岸橋台1基、道路部の地盤改良が完成し20年度に迂回路等が完成しましたが、地盤状況が悪く、21年度は地盤状況及び基礎杭の変位の調査、対策の補強工事等を実施しました。22年度は前年度の継り越し工事、23年度にかさ上げ工事と路面工を予定し、24年3月末完成予定です。総工事費は10億2,300万円強となる予定です。

問 合併処理浄化槽設置費補助金の減額補正について

答 初6基を予定していたが、41基となりました。不況の影響による新築家屋の減少が主な原因と思われます。

問 市道頭山線工事の進捗状況、完成予定、総工事費は

答 19年度に本房川の橋台2基と新野川左岸橋台1基、道路部の地盤改良が完成し20年度に迂回路等が完成しましたが、地盤状況が悪く、21年度は地盤状況及び基礎杭の変位の調査、対策の補強工事等を実施しました。22年度は前年度の継り越し工事、23年度にかさ上げ工事と路面工を予定し、24年3月末完成予定です。総工事費は10億2,300万円強となる予定です。

問 商工会補助金として22年度も3,000万円計上されています。21年度には補助金とは別に耐震工事費1,500万円支出しています。事務事業の一括化が条件だったと聞いたが、この4月から実現されるのか

問 事務の効率化や経費削減を考えると避けて通れない課題であり、耐震工事の条件整備を支援していきます。事務事業の一括化が条件だったと聞いたが、この4月から実現されるのか

答 市単独としては精神医療扶助費や施設及び通院費扶助費、「デイサービス事業扶助費、住宅改修費」です。支援策は、障害児放課後児童クラブ事業、福祉タクシー券の配布、ケーブルテレビ利用料の補助等の支援です。

委員会質疑

文教厚生委員会

おまえざき 市議会だより 第23号 2010年1.2.3月

総務経済委員会

御前崎市防犯まちづくり条例の制定について
「犯罪発生情報の提供」とあるが、どのように提供するのか

答 ホームページ等を使い情報提供をいたします。監視を強制する条例ではなく、お互いに防犯意識を持つて自ら犯罪を防ぐ、懲罰のための条例と考えております。

平成22年度御前崎市一般会計予算の内、総務部、事業部、会計課、監査委員の所管に属する事項について

問 國際交流基金事業の旅行事委託料について、小中高生の海外研修事業の参加人数内訳は何んくらいを予定しているのか

答 中高生で計画しているアメリカ、オーストラリア、タイは10人、随行を入れて11人です。小学生の研修は公営住宅等で、合計16万7,857平方メートルです。

問 無線施設整備事業費について、各地区に配備しているハンディ無線機があるが、白羽・御前崎地区的区民館は高いアンテナに接続しないと通信できない。市内で他にも同様の箇所があるのか

答 平成19年度に補助金を波状調査等を行い、合戸等でもアンテナを建て対応しております。デジタル化により電波状態が良い所ばかりではありませんので、

問 子ども手当扶助費について、何人くらいで、市の負担はいくらになるのか

答 おまえざき市は一人当たり年間8万9,704円、一番高い菊川市が11万1,500円です。掛川市で約10万6,000円、牧之原市が約9万4,000円です。牧之原市は引き上げを検討しています。



問 富士山静岡空港が出来てから御前崎市に観光等で来た人數を把握しているか

答 宿泊者についてはある程度把握しています。昨年の12月末現在で3,200名前後の方が宿泊しています。後4年です。

問 在宅福祉事業の緊急通報システムについて

答 1人暮らし高齢者世帯、高齢者のみの世帯で、身体に異常を起こした場合等に通報すると、支援者・消防署が駆け付けるシステムです。

問 教育指導支援事業の学習支援員他2人の配属はどうなっているのか

答 今4月から重度障害者である精神2級・療育手帳(B)の交付者にタクシーチケット交付を拡大します。75歳に年齢を引き上げさせてもらいました関係で人數が減るため、対象を広げても3,000万円の予算内に納まる予想です。

答 御前崎小学校3名、白羽小学校2名、第一小学校9名、浜岡東小学校4名、北小学校3名、浜岡中学校3名、サンルーム3名と、第一小学校に軽度発達障害児童・生徒指導1名と国籍児童・生徒指導1名となります。

問 図書館運営事業について、入館者は年間どの程度になります。

答 受給資格者は208名になります。

問 母子福祉扶助事業について、母子・父子家庭はどうくらいあるのか

答 596万円分が市の負担となります。

問 地方税滞納整理機構への負担金について、地方税滞納整理機構へお願いした

答 今まで指定管理ということで、年間1,100万円の委託料を支払っています。今回自立支援法の実施に変わることにより、委託料は発生せず、自立支援法による給付費の市町負担金4分の1が発生し、320万~330万円程度の負担金額になり軽減されます。

問 病院事業運営事業の様子について、後何年くらい払うのか

答 平成25年までですので、このように伸びております。

問 公共下水道への加入率はどれくらいか

答 71%です。



問 年度別会計予算について

答 一度に引き上げては納稅者が理解できるか問題で考えておりません。納稅者の問題だとと思います。納稅者の負担も増えますし、滞納者が増える心配もあります。審議会で図る中で検討していかなければいけないと思っています。

問 医療給付費について、現実とかけ離れているのではないか。対応策は審議会で図る中で検討してあります。7月の本算定で平成9月定期会に補正予算を提出していく予定です。総額での予算額に2億5,000万円ほど増額を考えて

問 「犯罪発生情報の提供」とあるが、どのように提供するのか

答 ホームページ等を使い情報提供をいたします。監視を強制する条例ではなく、お互いに防犯意識を持つて自ら犯罪を防ぐ、懲罰のための条例と考えております。

問 地方税滞納整理機構への負担金について、地方税滞納整理機構へお願いした

答 今まで指定管理ということで、年間1,100万円の委託料を支払っています。今回自立支援法の実施に変わることにより、委託料は発生せず、自立支援法による給付費の市町負担金4分の1が発生し、320万~330万円程度の負担金額になり軽減されます。

問 病院事業運営事業の様子について、後何年くらい払うのか

答 平成25年までですので、このように伸びております。

問 公共下水道への加入率はどれくらいか

答 71%です。

問 医療給付費について、現実とかけ離れているのではないか。対応策は審議会で図る中で検討してあります。7月の本算定で平成9月定期会に補正予算を提出していく予定です。総額での予算額に2億5,000万円ほど増額を考えて

問 「犯罪発生情報の提供」とあるが、どのように提供するのか

答 ホームページ等を使い情報提供をいたします。監視を強制する条例ではなく、お互いに防犯意識を持つて自ら犯罪を防ぐ、懲罰のための条例と考えております。

問 地方税滞納整理機構への負担金について、地方税滞納整理機構へお願いした

答 今まで指定管理ということで、年間1,100万円の委託料を支払っています。今回自立支援法の実施に変わることにより、委託料は発生せず、自立支援法による給付費の市町負担金4分の1が発生し、320万~330万円程度の負担金額になり軽減されます。

問 病院事業運営事業の様子について、後何年くらい払うのか

答 平成25年までですので、このように伸びております。

問 公共下水道への加入率はどれくらいか

答 71%です。

問 医療給付費について、現実とかけ離れているのではないか。対応策は審議会で図る中で検討してあります。7月の本算定で平成9月定期会に補正予算を提出していく予定です。総額での予算額に2億5,000万円ほど増額を考えて

問 医療給付費について、現実とかけ離れているのではないか。対応策は審議会で図る中で検討してあります。7月の本算定で平成9月定期会に補正予算を提出していく予定です。総額での予算額に2億5,000万円ほど増額を考えて

浜岡原子力発電所5号機の低圧タービン取り替えについて
5号機低圧タービンは平成18年6月に損傷し、今まで圧カブレートを設置して対応してきましたが、製作していたタービンが完成しました。新しい羽根は振動の減衰効果に優れた構造とし、羽根の取り付け部分についても形状を最適化したとのことであります。今回の定期点検の間に取り替える計画であり、これによって従来の定格出力である138万キロワットに復帰するとの報告がありました。

概要について

浜岡原子力発電所6号機の建設計画に係る環境影響評価方方法書の概要について

環境影響評価とは、発電所を建設することにより周辺の環境にどのような影響を及ぼすのかを調査し、評価を行い、その結果を公表し、環境保全の観点からより良い計画とするための制度であり、概要としては本体用地を始め資材置場、鉄筋加工場等今後検討範囲の中で関係する皆様にお願いし、実施区域を決めたいとの報告がありました。

総合開発計画策定特別委員会について

予算編成の終了に伴い、22年度予算と整合性がとれた実施計画が示されたので説明を受けました。平成22年度事業費合計額は60億9,104万1千円となりました。また、平成23年度事業費合計額は82億4,720万円、平成24年度は82億3,532万円を予定しております。増額の大きな要因は鈴木鉄工跡地の取得と子ども手当の増額です。

電源三法交付金の配分について

初期対策交付金については平成22年度は期間Ⅱの予定ですが、中電の諸事情により当初予算には期間Ⅰの1億4,000万円が計上されます。期間Ⅰの充当事業は地域活性化措置という規則に則したソフト事業費が示されました。長期対策交付金については従来どおり経常目的に交付されるものであり、基本的には公共施設の維持運営管理費に充当したいという事であります。また、核燃料サイクル交付金については、配分率が決定され、当市は総額で41億1,000万円の交付を受ける予定ですが、申請するには県が作成する地域振興計画が必要です。平成23年度から事業着手するにはこの振興計画を2年度中に策定しなければなりません。県の整備計画方針が示されるのを待つて早急に事業のとりまとめを行いたいとのことです。本特別委員会の意見が極力反映されるような進め方をされるよう、担当課に改めて申し入れを行った次第です。

総合開発計画策定特別委員会

原子力対策特別委員会

浜岡原子力発電所5号機の低圧タービン取り替えについて

5号機低圧タービンは平成18年6月に損傷し、今まで圧カブレートを設置して対応してきましたが、製作していたタービンが完成しました。

新しい羽根は振動の減衰効果に優れた構造とし、羽根の取り付け部分についても形状を最適化したとのことであります。今回の定期点検の間に取り替える計画であり、これによ

り従来の定格出力である138万キロワットに復帰するとの報告がありました。



完成した新タービン

市議会より提言



健全で持続可能な財政運営についての提言

昨年9月には政権交代という大きな歴史的変化があり、その結果政府の方針も大きく変わり、政策の転換が進み、地方自治体も影響を受けつつあります。中でも地方財政は、地方税や地方交付税の原資となる国税の大幅な減収により、国債の大量発行を行ないつつも、「地城主権」のもと地方交付税の増額に踏み切りました。

しかし、市のように地方交付税不交付市については、大幅な減収や財源不足を緩和し、補うべき交付税的な財源を確保する制度の方策も用意されておらず、一気に悪化する財政状況を自らの知恵と体力により乗り越えていかざるを得ません。特に市税に関しては、1・2号機の廃炉や、市内経済の低迷により大きく減収しています。この結果、市の中長期の財政見通しはまだかつてない厳しい状況となっています。執行部も議会もこの財政状況を真摯に捉え、深刻な財政状況に至らないように徹底した財政再建の策を講じ、徹底した歳出の削減と歳入の増加に努めることが喫緊の課題であります。

議会においては、一昨年、総務経済委員会において1年間の調査研究の結果、平成21年1月28日に行財政改革の提言をし、更に議会の総意として平成21年3月に行財政改革特別委員会を編成し、今まで調査研究をしてまいりました。その結果、当市の健全な財政運営に向けての提言を左記のとおりまとめました。

記

1. 健全な財政運営に向けての数値目標

- (1) 財政調整基金は、最低限30億円を確保する
- (2) 経常収支比率は85%以下を維持する
- (3) 全会計起債残高は250億円以下とする
- (4) 実質公債比率は14%を超えないこと

2. 財政コスト削減への数値目標

- (1) 人にかかるコストは、現在の85%以下とする
- (2) 物にかかるコストは、現在の80%以下とする
- (3) 補助費・繰出金のコストは、現在の85%以下とする

教育と子育て支援についての提言

現在、御前崎市内には小学校5校、中学校2校がありますが、浜岡北小学校では1学年30名にも満たない状況にあり、御前崎中学校は学校組合立て運営されていることなど各学校で様々な問題を抱えています。また、小学校では落ち着いて学習に向かえない小1プロブレム、小学校から中学校の間の段差といわれる中1ギャップも指摘されています。

先進地域ではすでに義務教育の見直しを行い、9年間の教育課程に一貫性をもたせながら教科担任制を取り入れ、小中学校の教員が一體となって指導をしています。こうした小中一貫教育により、小中学校の義務教育全體に対する責任意識や教員の指導力、学力観は確実に向かっています。

このような状況を鑑み、小中学校の教育体制の見直しと9年間を見通した新しい義務教育の構築に早急に取り組むべきであります。

また、子育てにおいては、家庭や地域社会における教育力の低下や人間関係の希薄化を感じられ、教育に関する知識や経験の少ない保護者は、子育ての不安や悩みが増えています。過保護・過干渉といった状況が生じている一方で、家庭の担うべき基本的なしつけを学校や幼稚園に依存する傾向があり、家庭、学校、地域、行政が一体となった更なる子育て支援（社会教育の充実）と就学前の教育の見直しが必要であります。

この度、御前崎市文教厚生委員会から、早期に市内の学校教育のあり方、子育て支援等の改革への取り組みを求める調査・研究結果について委員長報告がありましたので、全議員にて議論した結果、議会の総意として下記事項を申し入れることにいたします。

記

1. 学校教育のあり方

- (1) 小中一貫教育への早期な移行
- (2) 現状への対策
 - ① 幼小連携を視野に入れたカリキュラムの見直し（小1プロブレム）
 - ② 学びの自立時期の充実（小4年生）
 - ③ 教科担任制の導入
 - ④ 小中連携教育の確立（中1ギャップの解消）
 - ⑤ 障害者への教育支援体制の充実
 - ⑥ 上曜日特別講座等の実施
 - ⑦ 公式式学習法等の取り入れ

2. 子育て支援（社会教育の充実）

- (1) 専門的人材・支援スタッフの配置等、サポート体制の充実
- (2) 保護者の体系的研修と第三者的な評価システムの導入
- (3) 外部人材の積極的な活用による教育支援体制の確立
- (4) 家庭・学校・地域・行政の協働と教育活動への参画

荒廃農地対策拠点事業についての提言

荒廃農地対策拠点事業の調査・研究結果についてはすでに平成21年11月19日に報告した通りであります。総務経済委員会は、引き続いて6次産業創出をテーマとした特産品づくりについて取り組んでまいりました。

現在、御前崎市は将来を見据えた農業振興ビジョンを策定中であります。御前崎市産業経済の新たな振興策として、農業を核とした6次産業創出へ向けての努力こそが、地域経済活性化の重要な課題であり、その波及効果が交流人口や移住人口に繋がるものと思います。

そのためには、安心・安全志向の農産物と地元の食品加工・地場流通を加えた御前崎特産品づくりの展開がキーワードとなります。特に荒廃農地対策拠点事業の推進にあたっては異業種の参入や新規就農者が持続して営農できる環境整備づくりが必要不可欠であります。

これらの課題に対して、具体的な調査・研究の結果について委員長報告がありましたので、全議員にて議論した結果、議会の総意として下記事項を申し入れることにいたします。

記

1. 御前崎市の推奨農産物としての特産品づくりを求める
2. 企業等の異業種参入や農業法人・新規就農者に対して荒廃農地対策支援内容の充実や新産業の育成ができる金融支援体制の拡充を求める
3. 循環型農業に対応した堆肥化やバイオ燃料等の事業化推進を求める



ます。具体的には、市内の養護教諭研修会や小笠樹川地区の学校保健会等で実態把握や話題提供をしていき

ます。地元企業からの申し出もあり、産学協同の拡充も一つの方向性と考えます。

答 脳脊髄液減少症は学校での体育授業や部活動等の事故が原因で発症する事例があり、学校関係者の理解が求められている。病気の周知と正しい理解のため啓発活動をしていく考えます。

問 脳脊髄液減少症について
灯台村塾について



岩瀬 初代

答 ①御前崎市荒廢農地対策商品利用について
④学校給食への支援について

問 ①荒廢農地再生への取り組みについて
②新規就農者への支援について
③地場産品の加工品への支援について
④学校給食への支援について

御前崎市の農業施策について



後藤憲志

防災訓練と避難支援について 御前崎灯台周辺の整備事業について



増田雅伸

議員視察研修

御前崎市の農業施策について



後藤憲志

防災訓練と避難支援について 御前崎灯台周辺の整備事業について



増田雅伸

をしていく必要があると考

えています。また2年度に

は農地の紹介システムが新

たに創設されます。当事業

の推進体制については検討

中です。

③荒廢農地から商品化された製品等を紹介

するパンフレットを作成中

です。また、流通に対するアドバイス事業等関係者との連携を図り検討していきます。

答 ①御前崎市荒廢農地対策事業補助金交付要綱を制定し対応、また国・県も再生経費の助成をしています。21年度から25年度の5年間で64ヘクタールの荒廢農地解消が目標で、この2年間で8・8ヘクタールを解消しました。また、排水路整備についても官地接続部について協議対応しています。

答 ②個人で中古ハウス・機械等購入の助成はないが、今後何らかの研究

をしていく必要がありますが

防災体制の整備は事前

の計画や説明が最も重要と考

えますので、各福祉団体等の組織に防災に関する説

明会を積極的に開催し、避難行動等のご理解をいた

るよう努めます。今後は災害時に力を發揮する自主

防災会員、福祉関係者、

問

火台周辺の整備事業の

経過報告と今後の予定は

答 当初の計画では平成21

年度に灯台敷地の一部払い下げ、平成22年度に基本計画作成予定でありましたが、払い下げに伴う第三管区海

上保安本部と協議の結果、

先に基本計画を作成するよ

う変更したことで計画の見直しを行いました。

今後の計画は平成22年度に基本計画の作成を実施し、

●行財政改革特別委員会(平成22年1月20日～21日)

問

今後の財政の厳しい状況を考えた中、行財政改革の調査研究

のため実施し、新幹線新駅設置が出来なくなったことにより、財政再構築プログラムを作成し、徹底した行政に取り組んで

いる状況等観察してきました。

●議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

問

市民への情報提供の必要性と委員の広報編集技術の調査研究

のため実施し、目の不自由な方のためにCDに内容を収録した「声の議会だより」を発行している状況等を観察してきました。

●視察先 佐賀県玄海町役場

●視察先 九州電力㈱新小倉発電所

問

原子力対策特別委員会(平成22年1月20日～21日)

今後の原子力施策を進める上で重要なブルサーマル計画の調査研究のため実施し、MOX燃料による発電が昨年11月から始まり、順調に運転している状況等を観察してきました。

●視察先 岐阜県岐阜市役所

●議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

問

市民への情報提供の必要性と委員の広報編集技術の調査研究

のため実施し、目の不自由な方のためにCDに内容を収録した「声の議会だより」を発行している状況等を観察してきました。

●視察先 岐阜県岐阜市役所

●議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

問

行財政改革特別委員会(平成22年2月1日)

今後の財政の厳しい状況を考えた中、行財政改革の調査研究

のため実施し、新幹線新駅設置が出来なくなったことにより、財政再構築プログラムを作成し、徹底した行政に取り組んで

いる状況等観察してきました。

●議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

問

議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

今後の議会広報特別委員会の実施方法について、議論を深めてきました。

●議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

問

議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

議会広報特別委員会の実施方法について、議論を深めてきました。

●議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

問

議会広報特別委員会(平成22年2月9日)

臨時議會

平成22年第1回臨時議会を開催する

2月定例市議会において可決した平成21年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正(第1号)に関する附帯決議を受けて、平成22年3月29日(月)に第1回御前崎市議会臨時会を開催し、「平成21年度御前崎市一般会計予算の補正(第7号)について」及び「平成21年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正(第2号)について」の議案を審議し、原案通り可決しました。今回のようなことが二度と起こらないよう、チェック体制とともに適正な職員配置を行なうよう議会より強く指摘をしました。

問 21年度もあと2日と残り少ない中で補正を審議しなければならない事についてどう考えているか。文教厚生委員会では附帯決議を添付して決するという苦渋の決断をしたが、この事に

答 國保会計は一般会計からの1・5億円の繰入と基金の取り崩し、不足分については補正による繰入で対応してきましたが、計算ミスにより再度増額をお願いします。今後はチエック機能の強化と再発防止を徹底していきます。

若杉泰彦

問 今議会での国民健康保険補正予算では最初に2、300万円余の増額補正、2回目が1億4,000万円余の減額補正そして3回目が3,500万円の増額補正となつた。特に今回のような異常事態が発生した場合は市の幹部会議で充分審議がされて提出されるのではないか。また22年度の国保会計についても不足

答 これからはスケジュールにつきましては6月に案例改正をさせて頂き、7月には本算定が確定しますので、それももとに早急にチケットを行い、9月議会で補正予算を審議して頂く予定です。それ以外の詳細についてはまだ内容が決まっていません。

 見本	<p>■ 保険税額 以下の①~④の合計でその年の税金が決まります。 (ただし、①~④の合計が賦課限度額を超えるときには賦課限度額となります。)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">① 所得割額</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">② 資産割額</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">③ 平等割額</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">④ 均等割額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">各世帯の所得に 応じて計算</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">各世帯の資産に 応じて計算</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1世帯につき いくらと計算</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">各世帯の加入者数 に応じて計算</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">  所得-33万円 (基礎控除) 上記金額 </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">  固定資産税額 (土地及び家屋に係 る部分のみ) </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">  1世帯につき </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">  被保険者1人につき </td> </tr> </tbody> </table> <p>●40歳から64歳の被保険者がいる世帯では、介護保険分の国保税が上乗せされます。 【賦課限度額】 医療分…4.7万円、後期高齢者支援金分…12万円、介護保険分…10万円</p>				① 所得割額	② 資産割額	③ 平等割額	④ 均等割額	各世帯の所得に 応じて計算	各世帯の資産に 応じて計算	1世帯につき いくらと計算	各世帯の加入者数 に応じて計算	 所得-33万円 (基礎控除) 上記金額	 固定資産税額 (土地及び家屋に係 る部分のみ)	 1世帯につき	 被保険者1人につき
① 所得割額	② 資産割額	③ 平等割額	④ 均等割額													
各世帯の所得に 応じて計算	各世帯の資産に 応じて計算	1世帯につき いくらと計算	各世帯の加入者数 に応じて計算													
 所得-33万円 (基礎控除) 上記金額	 固定資産税額 (土地及び家屋に係 る部分のみ)	 1世帯につき	 被保険者1人につき													

本会議を 傍聴しませんか？

6月定例会の予定

6月定例会は6月2日(水)から6月24日(木)までの23日間の会期で開催する予定です。

日程は変更になる場合がありますので、事前に市議会事務局(電話**85-1115**)までお問い合わせください。

6月

- 2日(水) 本会議(議案説明)
15日(火) 本会議(質疑・一般質問)
16日(水) 本会議(一般質問)
17日(木) 常任委員会
18日(金) 特別委員会
24日(木) 本会議(質疑・討論・採決)

全国市町村議会における意見書提出の状況

審議件数	9,422件
行政・議会	185件
税・財政	801件
医療・保健	1,221件
教育・文化	1,507件
農林水産	2,139件
公害・環境	274件
建設・運輸・国土保全	1,890件
防災・消防・警察	175件
商工・労働・観光	704件
地域振興	170件
外交・防衛	250件
その他	106件

国の政策に影響を与える意見書提出権

今回の2月定例会では議員発議による意見書が10件と大変多く採択されました。議会は意見表明権をもっていますが、国会または関係行政庁に政策変更などを促すための意見書提出権もそのひとつです。提出を受けた行政庁は誠意を持って処理する行政的責任を有しています。この意見書の活用については、情報化社会の進展に伴い住民意識の高揚や住民運動が活発化する傾向からみて市議会においても住民世論や行政需要を先取りする政策活動の必要性が痛感されるので、その対応の一つとして意見書提出権の積極的活用を考えてみたいと思います。住民世論の動向に常に関心を持ち、それを先取りする形で、法律に根柢のあるものとしては意見書、事実上のものとしては決議として、議会の政策上の意思を決定し、それを権限を有する行政機関に送付または提出して、その実現を目指す事は極めて大事なことです。そのための唯一の法的手段が意見書の提出であるからです。特に、最近各種団体から政府等に対する政策提言に関する意見書の提出の要請が市議会に対しても頻繁になされています。これに対する真剣な要請ですから、大所高所から住民の立場に立って市議会に対する真剣な要請でありますから、議会自らの政策活動として御討して處理する事は論をまちません。そして、議会のよう積極的に提出活動を行っていくべきです。

